



ISAP 2026

持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム

新たなフェーズへ： インド太平洋地域の気候安全保障への経 済安全保障の統合

気候変動ユニット主任研究員
久留島 啓

IGES

公益財団法人
地球環境戦略研究機関

気候の安全保障とは？

◆ いろいろな「安全保障」がある

軍事安全保障

経済安全保障

人間の安全保障

食料安全保障

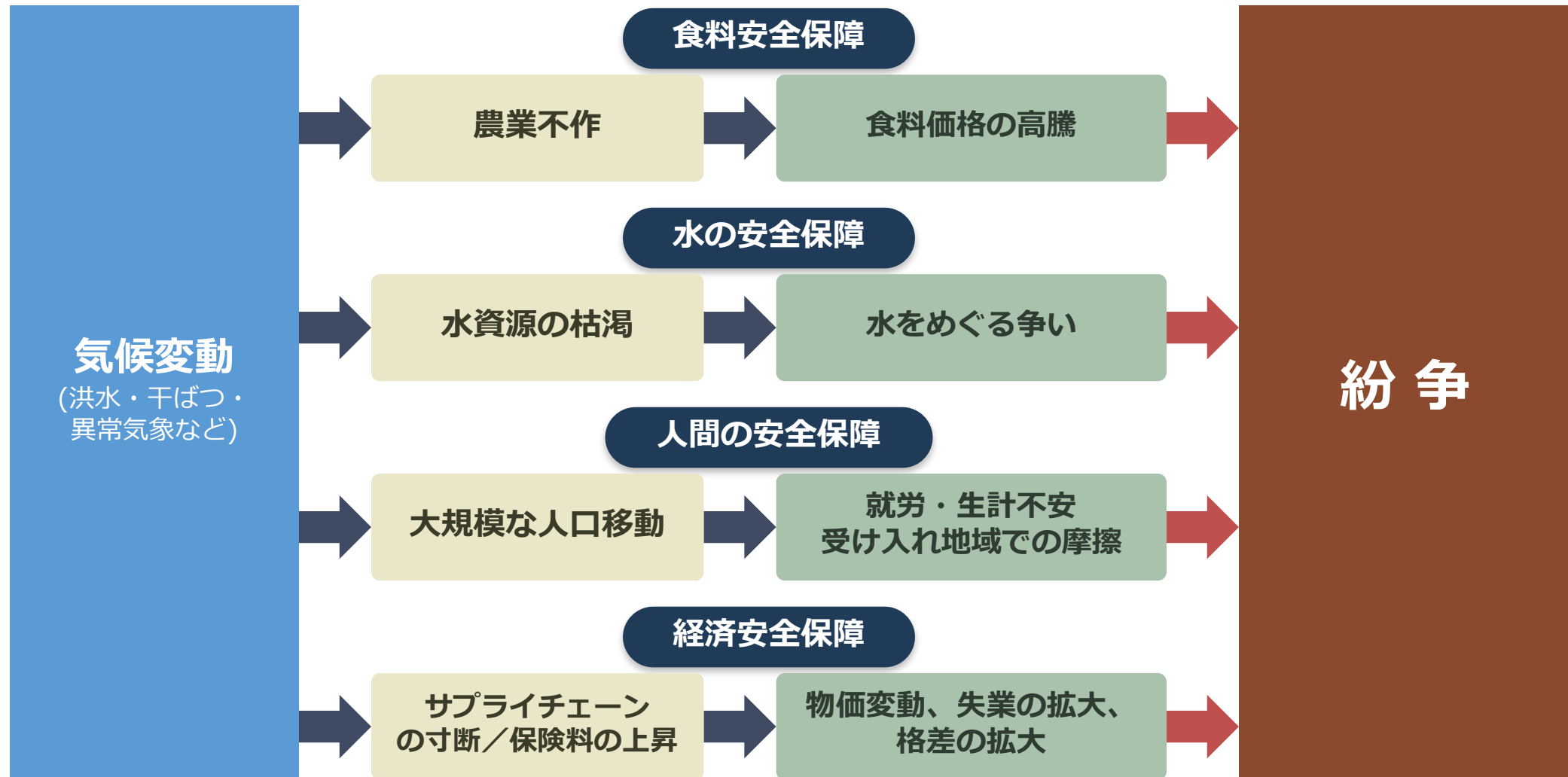
エネルギー安全保障

サイバー安全保障

気候安全保障

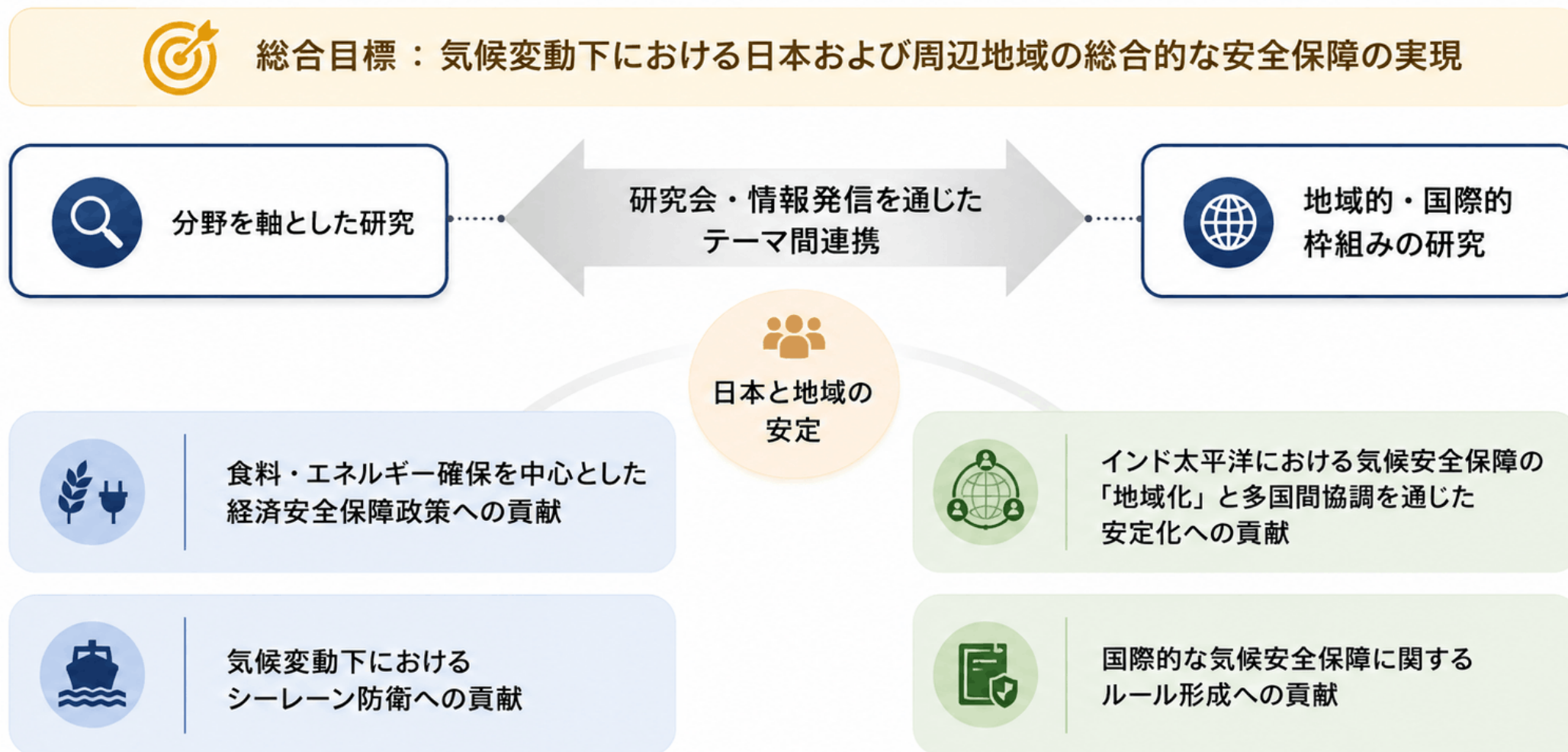
気候変動を安全保障上の問題として位置づけ、経済・社会活動に大規模な混乱を引き起こすリスクとして捉える

気候変動がもたらす安全保障上リスクの連鎖



外務省補助金事業2026年～2028年度：

気候変動下における日本とインド太平洋地域の安全保障の実現：経済安全保障との関連を中心に



気候リスクと日本の経済安全保障、インド太平洋の安定を 結びつける4つの統合的研究領域



食料・エネルギー安全保障

01

食料・エネルギー・水のネクサス枠組みを用いて、日本およびアジア太平洋地域を取り巻く食料安全保障・エネルギー安全保障上の気候リスクと地政学的リスクを分析するとともに、これらのリスクが相互に作用し、経済安全保障に及ぼす複合的な影響を考察する。



シーレーンの防衛

02

脱炭素化や北極圏の温暖化といった気候変動由来の変化が、世界の海上輸送路の戦略的価値とリスクをどう変えるかを分析する。米中対立が続く中、QUADやASEANとの関係における日本の外交・安全保障政策への影響を検討する。



気候安全保障の地域化

03

「統合的地域気候安全保障フレームワーク」を構築し、早期警戒システムと適応・人道支援を結びつける。国別適応計画(NAP)や中小企業の事業継続計画(BCP/BCM)、保険等の備えを、ASEAN+6や太平洋諸島フォーラムと連携しながら強化する。



気候安全保障のための国際ルール

04

パリ協定、国連安全保障理事会での議論、貿易・投資枠組みなど、グローバルガバナンスの再構築を検討する。国連への信頼が揺らぐ中で気候行動を持続させるため、テーマ3と密接に連携しながら取り組む。

登壇者紹介

モデレーター



久留島 啓

IGES 気候変動ユニット 主任研究員 /
レンズ・ファシリテーター

パネリスト



関山 健

京都大学大学院 教授

パネリスト



木村 直子

IGES 気候変動ユニット 研究員

パネリスト



岡野 直幸

国連大学サステナビリティ
高等研究所 プログラムオフィサー

パネリスト



加藤 拓

損害保険ジャパン株式会社 カルチャー
変革推進部 サステナビリティ推進
グループグループリーダー



ISAP 2026

持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム

関西
初開催!

ご清聴ありがとうございました。

Thank you very much for your attention.



isap.iges.or.jp/2026/jp/

